



Cisco IP Manager Assistant の使用方法

BAT を使用して、Cisco CallManager の Cisco IP Manager Assistant (IPMA) 機能を管理できます。BAT では、マネージャやアシスタントの IP Phone を追加できます。詳細については、次の項を参照してください。

- [プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.5-2\)](#)
- [共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.5-12\)](#)

マネージャまたはアシスタントとそのアソシエーションをバルク トランザクションで追加、更新、および削除できます。詳細については、[P.5-15](#) の「[マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成](#)」を参照してください。

次のトピックでは、BAT を使用して Cisco IPMA を管理するためのオプションについて説明します。

- [Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入 \(P.5-21\)](#)
- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)
- [Cisco CallManager からのマネージャの削除 \(P.5-26\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.5-30\)](#)
- [IPMA マネージャおよびアシスタントのレポートの生成 \(P.11-16\)](#)

Cisco IPMA の詳細については、次のマニュアルを参照してください。

■ Cisco IPMA で使用する電話機と回線の概要

- *Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*
- *Cisco IP Manager Assistant ユーザ ガイド*

Cisco IPMA で使用する電話機と回線の概要

Cisco IPMA 機能は、いくつかの Cisco IP Phone モデルとデバイス プロファイルに対して利用できます。Cisco IPMA には、マネージャとアシスタントの回線で Cisco IPMA 機能を利用するための設定モードとして、次の 2 つが用意されています。

- プロキシ モード：マネージャのプライマリ回線は、アシスタントの電話機とは異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられる。詳細については、[P.5-2 の「プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定」](#)を参照してください。
- 共有回線モード：マネージャとアシスタントの電話機が共有回線を持ち、同じ電話番号とパーティションを使用する。詳細については、[P.5-12 の「共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定」](#)を参照してください。

BAT を使用して、マネージャとアシスタントの電話機に、プロキシ回線または共有回線を設定することができます。

プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定

マネージャの電話機とアシスタントの電話機が IPMA プロキシ回線をサポートするよう設定するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. Cisco IPMA Configuration ウィザードを使用して、システムに IPMA の要件を設定することをお勧めします。このウィザードは、IPMA マネージャとアシスタント、ルート ポイント、パーティション、変換パターン、および Cisco IPMA サービスのコール検索スペース（コーリング サーチ スペース）について、電話機テンプレートを自動的に作成します。Cisco IPMA Configuration ウィザードを実行するには、BAT とウィザードが同じサーバにある必要があります。Cisco IPMA Configuration ウィザードの実行方法については、『*Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*』を参照してください。



(注) Cisco IPMA Configuration ウィザードは、システムの IPMA 設定上の要件を設定するときに一度だけ使用できます。この設定ウィザードを実行した後は、設定内容をウィザードで表示できますが、変更はできません。

2. マネージャとアシスタント用に新しい電話機とユーザを追加するには、Cisco IPMA Configuration ウィザードによって BAT サーバ上に作成される IPMA マネージャと IPMA アシスタントの電話機テンプレートを 사용합니다。BAT テンプレートは、プロキシモードの電話機を設定する場合にだけ使用します。テンプレートの詳細については、[P.5-4](#) の「[IPMA マネージャとアシスタントの電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」を参照してください。
3. 既存のマネージャとアシスタントの電話機については、次のいずれかの方法を使用して、IPMA 電話機テンプレートに対応するように変更できます。
 - BAT の Add Lines 機能を使用して、既存の電話機を IPMA 電話機テンプレートに類似した形式に変更できます。詳細については、[P.3-89](#) の「[既存の電話機および UDP への回線の追加](#)」を参照してください。
 - マネージャとアシスタントの IPMA 電話機テンプレートを使用し、元の電話機を削除して、新しい電話機を追加できます。[P.3-2](#) の「[電話機の追加](#)」の新しい電話機の設定手順に従ってください。
4. マネージャとアシスタントについて電話機と回線を設定し終わったら、マネージャとアシスタントの回線を関連付けて IPMA で制御できるようにします。IPMA 回線の設定については、[P.5-5](#) の「[マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定](#)」を参照してください。

IPMA マネージャとアシスタントの電話機テンプレートのデフォルト設定値

表 5-1 に、IPMA マネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値を示します。

表 5-1 プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値

フィールド	デフォルト値
Softkey Template	Standard IPMA Manager
Phone Button Template	Standard Cisco IP Phone model 7960 (2 回線)
Line1	プライマリ回線 <ul style="list-style-type: none"> • CSS = Generated_IPMA_CSS_I_E • Partition = Generated_IPMA_Managers
Line 2	着信インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> • CSS = Generated_IPMA_CSS_I_E • Partition = Generated_IPMA_Everyone • ヘッドセットでの自動応答またはスピーカフォンでの自動応答のオプションも設定します。
Services	IPMA Service

表 5-2 に、IPMA アシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値を示します。

表 5-2 プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値

フィールド	デフォルト値
Softkey Template	Standard IPMA Assistant
Phone Button Template	Standard Cisco IP Phone 7960 Assistant
Expansion Module 1	14 ボタンの拡張モジュール
Line 1 ～ Line 6 (IP Phone 7960 上)	プロキシ回線 1 ～ 5 (各プロキシ回線のデフォルト値は次のとおり)
Line 2 ～ Line 5 (拡張モジュール上)	<ul style="list-style-type: none"> • CSS = IPMA_CSS_M_E • Partition = Generated_IPMA_Everyone
Line 7 (拡張モジュール上)	インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> • CSS = Generated_IPMA_CSS_I_E • Partition = Generated_IPMA_Everyone • ヘッドセットでの自動応答またはスピーカフォンでの自動応答のオプションも設定します。

マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定

BAT は、マネージャの電話機のプライマリ回線をアシスタントの電話機のプロキシ回線にマッピングすることで、IPMA 回線設定を割り当てます。IPMA ウィザードで作成した IPMA マネージャと IPMA アシスタントのデフォルトのテンプレートを使用すると、1 ～ 5 回線のマネージャ回線を 1 人のアシスタントの電話機に関連付けることができます。IPMA テンプレートによって設定された電話機について、次の例では、2 つのマネージャの電話機を 1 つのアシスタントの電話機に関連付ける場合の回線設定を示します。

マネージャ 1 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：インターコム回線

マネージャ 2 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：インターコム回線

アシスタントの電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：マネージャ 1 用のプロキシ回線
- 回線 3：マネージャ 2 用のプロキシ回線
- 回線 4～6 は未割り当て
- 回線 7：インターコム回線

回線 4～6 は他のマネージャとのアソシエーションに使用できます。

1 人のアシスタントの電話機に複数のマネージャを関連付ける場合、プロキシ回線は、CSV データ ファイル内での順序に基づいて作成されます。マネージャとアシスタントの最初の回線は、マネージャのすべてのプライマリ回線を、アシスタントの電話機上の未割り当て回線にプロキシ回線として割り当てることで作成されます。アシスタントの電話機的全回線が割り当て済みになるか、CSV レコード内のすべてのマネージャが割り当てられるまで、CSV レコードの順序に基づいて、マネージャとアシスタントのプロキシ回線が 1 つずつ作成されていきます。

複数のアシスタントを 1 人のマネージャのプライマリ回線に関連付ける場合、BAT は CSV データ ファイル内での順序に基づいて、アシスタントをマネージャに割り当てます。BAT によって割り当てられるマネージャのプライマリ回線は、1 番目のアシスタントで利用可能な回線数に基づきます。たとえば、マネージャの電話機に 2 つの回線があるとした場合、CSV データ ファイルにある 1 番目のアシスタントが使用できるのは、1 回線だけです。結果として、BAT によって、マネージャの 1 つのプライマリ回線だけが、CSV レコードに含まれているすべてのアシスタントの電話機にある 1 つのプロキシ回線に関連付けられます。

IPMA マネージャの電話機の設定

表 5-3 に、マネージャとアシスタントのアソシエーションを使用する場合に、BAT がマネージャの電話機に対して設定できるすべての回線設定を示します。

表 5-3 マネージャの電話機の内線設定

利用可能回線数	設定
1 回線	回線 1 : プライマリ回線 (IPMA 制御) インターコム回線 (なし)
2 回線 (デフォルトの IPMA マネージャ電話機テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 (IPMA 制御) 回線 2 : インターコム回線 (オプション)
3 回線以上	最後の回線が、インターコム回線として設定されます。 プロキシ回線に関連付けられるマネージャの回線数は、アシスタントの電話機で利用できる回線数によって決定されます。

IPMA アシスタントの電話機の設定

表 5-4 に、マネージャとアシスタントのアソシエーションの作成中に、BAT がアシスタントの電話機に対して設定するデフォルトの内線設定を示します。

表 5-4 アシスタント電話機の内線設定

利用可能回線数	設定
1 回線	回線 1 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)
2 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)

表 5-4 アシスタント電話機の回線設定（続き）

利用可能回線数	設定
3 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 回線 3 : インターコム回線
4 回線以上	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 最後の回線が、インターコム回線として設定されます。 他の回線は、すべてプロキシ回線として設定されます。
7 回線 (デフォルトの IPMA アシスタント電話機テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 ~ 6 は、5 人以下のマネージャをサポートするプロキシ回線として設定できます。 回線 7 : インターコム回線

Cisco IPMA マネージャとアシスタントの電話機用のプロキシ回線の例

ここでは、それぞれ 3 つの既存回線を持つ 2 人のマネージャを、6 つの未割り当て回線を持つ 1 人のアシスタントに関連付けます。BAT は、マネージャとアシスタントの電話機に、次の回線設定を行います。

マネージャ 1 の電話機

- 回線 1 : マネージャのプライマリ回線（電話番号は 2355）
- 回線 2 : マネージャのプライマリ回線（電話番号は 2366）
- 回線 3 : マネージャのインターコム回線

マネージャ 2 の電話機

- 回線 1 : マネージャのプライマリ回線（電話番号は 2656）
- 回線 2 : マネージャのプライマリ回線（電話番号は 2666）
- 回線 3 : マネージャのインターコム回線

アシスタントの電話機

- 回線 1 : アシスタントのプライマリ回線 (電話番号は 3333)
- 回線 2 : マネージャ 1 のプロキシ回線 1 (電話番号は 3455)
- 回線 3 : マネージャ 2 のプロキシ回線 1 (電話番号は 3656)
- 回線 4 : マネージャ 1 のプロキシ回線 2 (電話番号は 3366)
- 回線 5 : マネージャ 2 のプロキシ回線 2 (電話番号は 3666)
- 回線 6 : 利用可能
- 回線 7 : アシスタントのインターコム回線

すでにプライマリ回線を持つマネージャ電話機を関連付けるときは、アシスタントの電話機の未割り当て回線数が、マネージャの電話機のプライマリ回線数以上である必要があります。たとえば、4 つのプライマリ回線が設定済みの電話機を持つマネージャと、3 回線だけ利用可能なアシスタントとのアソシエーションは、BAT では作成できません。

プロキシ回線を使用した IPMA マネージャとアシスタント用の新しい電話機の設定

プロキシ回線を使用する IPMA マネージャとアシスタントのために新しい電話機を設定する手順は、次のとおりです。

始める前に

1. IPMA Configuration ウィザードを実行して、IPMA テンプレート、パーティションおよびコール検索スペースを作成します。
2. 1 人のアシスタントに 6 人以上のマネージャを関連付ける場合、IPMA Assistant Template にアクセスして、新しい名前で作成する必要があります。マネージャの追加に対応するには、テンプレートに行を追加します。

ステップ 1 **Configure > Phones** の順に選択します。Phones Options ウィンドウが表示されません。

ステップ 2 **Insert Phones with Users** を選択し、**Next** をクリックします。Steps to Insert Phones ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Steps to Insert Phones ウィンドウで **Add, view, or modify phone templates** を選択し、**Next** をクリックします。

Phone Template Configuration ウィンドウが表示され、Phone Templates List に IPMA マネージャと IPMA アシスタントの電話機テンプレートが表示されます。



(注) BAT IPMA テンプレートは書き込み禁止です。これらのテンプレートを変更する場合は、テンプレートのコピーを作成してから編集してください。

マネージャ電話機テンプレートのフィールドの説明は、[P.5-4](#) の「[プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」を参照してください。

アシスタント電話機テンプレートのフィールドの説明は、[P.5-5](#) の「[プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」を参照してください。

ステップ 4 次のオプションを使用して、マネージャの電話機とアシスタントの電話機に、それぞれ別の CSV データ ファイルを作成します。

- BAT スプレッドシートを使用して、**Phones** タブを選択する。
- テキストエディタを使用して、マネージャまたはアシスタントのテンプレートのフィールドをガイドとして参照する。

ステップ 5 新しい電話機を挿入する手順は、[P.3-2](#) の「[電話機の追加](#)」を参照してください。

既存の電話機に対する IPMA プロキシ回線の設定

既存の電話機に、マネージャとアシスタント用の回線を設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 **Configure > Phones** の順に選択します。Phones Options ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 **Add Lines** を選択し、**Next** をクリックします。Add Lines (Step 1 of 2) ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 BAT 用に IPMA テンプレートのコピーや変更が必要な場合は、次のトピックを参照してください。

- [プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値 \(P.5-4\)](#)
- [プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値 \(P.5-5\)](#)



(注) Cisco IPMA Configuration ウィザードの実行時に、設定情報（たとえば、パーティション名）を変更した場合は、テンプレートの編集時にもそのフィールドで同じ設定情報を使用する必要があります。

ステップ 4 次のいずれかのオプションを使用して、マネージャの電話機とアシスタントの電話機に、それぞれ別の CSV データ ファイルを作成します。

- BAT スプレッドシートを使用して、**Add Lines** タブを選択する。
- テキストエディタを使用して、マネージャまたはアシスタントのテンプレートのフィールドをガイドとして使用する。

ステップ 5 [P.3-89](#) の「[既存の電話機および UDP への回線の追加](#)」の手順により、既存の電話機にマネージャとアシスタントの回線を設定します。

関連項目

- [Cisco IPMA で使用する電話機と回線の概要 \(P.5-2\)](#)
- [プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.5-2\)](#)
- [マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成 \(P.5-15\)](#)
- [Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入 \(P.5-21\)](#)

共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定

マネージャの電話機とアシスタントの電話機が共有回線をサポートするよう設定するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. Cisco CallManager で共有回線をサポートするための IPMA サービス パラメータを設定する必要があります。詳細については、『*Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*』を参照してください。
2. IP Phone model 7960 で 5 回線以上を使用する場合は、電話機ボタン テンプレートが必要です。
3. 次のガイドラインを使用してマネージャとアシスタントの電話機を設定します。

共有回線モードにおけるマネージャの電話機

P.3-2 の「[電話機の追加](#)」で説明している、BAT を使用した新しい電話機の設定手順に従ってください。

BAT テンプレートを作成し、次に示す電話機の設定を使用して、マネージャの新しい電話機を追加するか、既存の電話機を更新します。

- Softkey テンプレート、Standard IPMA Shared Mode Manager を割り当てる。
- 必要に応じて、アシスタントと共有するプライマリ回線を追加する。
- プライマリ回線に、ボイス メッセージ プロファイルを設定する。
- 着信インターコム回線を追加する（オプション）。
- 発信インターコムのターゲットに対して、短縮ダイヤル ボタンを追加する（オプション）。
- ユーザ ロケールを設定する。

共有回線モードにおけるアシスタントの電話機

P.3-2 の「[電話機の追加](#)」で説明している、BAT を使用した新しい電話機の設定の手順に従ってください。

BAT テンプレートを作成し、次に示す電話機の設定を使用して、アシスタントの新しい電話機を追加するか、既存の電話機を更新します。

- Softkey テンプレート、Standard IPMA Assistant を割り当てる。

- 追加の回線に Cisco 14 ボタン拡張モジュール (7914) を使用している場合、BAT テンプレートで拡張モジュールのタイプを指定する。



(注) Cisco IP Phone model 7960 電話機ボタン テンプレートには、拡張モジュール回線が含まれています。

- 個人用のプライマリ回線を追加する。
 - 関連付けられたマネージャに、共有回線を追加する。同じ電話番号とパーティションを、マネージャの電話機のプライマリ回線として使用する。
 - 着信インターコム回線を追加する (オプション)。
 - マネージャのインターコム回線に、短縮ダイヤルを追加する (オプション)。
 - ユーザ ロケールを設定する。
1. 既存のマネージャまたはアシスタントの電話機に回線を追加する方法については、[P.3-89](#) の「[既存の電話機および UDP への回線の追加](#)」を参照してください。回線の設定については、次に示す項を参照してください。
 - [共有回線モードにおけるマネージャの電話機 \(P.5-12\)](#)
 - [共有回線モードにおけるアシスタントの電話機 \(P.5-12\)](#)
 2. マネージャとアシスタントについて電話機と回線を設定し終わったら、マネージャとアシスタントの回線を関連付けて IPMA で制御できるようにします。[P.5-15](#) の「[マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成](#)」の手順に従ってください。

マネージャとアシスタントの共有回線の設定

BAT は、Cisco IPMA の回線設定を、マネージャとアシスタントの電話機に割り当てた共有回線に関連付けます。共有回線モードは、アシスタントに関連付けるときにマネージャの設定で指定します。

共有回線モードでは、マネージャの回線が、アシスタントの電話機の共有回線に対応します。たとえば、2人のマネージャを1人のアシスタントに関連付けるためには、マネージャの電話機のプライマリ回線と同じ電話番号とパーティションを持つアシスタントの電話機に、2つの回線を追加します。

マネージャ 1 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線（電話番号は 2355）
- 回線 2：インターコム回線（オプション）

マネージャ 2 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線（電話番号は 2875）
- 回線 2：インターコム回線（オプション）

アシスタントの電話機

- 回線 1：アシスタントのプライマリ回線（電話番号は 3356）
- 回線 2：マネージャ 1 の共有回線（電話番号は 2355）
- 回線 3：マネージャ 2 の共有回線（電話番号は 2875）
- 回線 4～6 は利用可能
- 回線 7：インターコム回線（オプション）

回線 4～6 は、他のマネージャ用の共有回線として追加できます。

1 人のアシスタントの電話機に複数のマネージャの回線を追加する場合は、アシスタントの電話機にあるすべての回線で共有回線モードを使用する必要があります。アシスタントの電話機では、プロキシ回線と共有回線は共存できません。同様に、1 人のマネージャに複数のアシスタントがいる場合、すべてのアソシエーションで共有回線モードを使用する必要があります。

複数のアシスタントを共有回線モードの 1 人のマネージャに関連付けると、BAT は、共有回線モードを使用しているアシスタントにだけ IPMA アソシエーションを割り当てます。

関連項目

- [共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.5-12\)](#)
- [マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成 \(P.5-15\)](#)
- [Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入 \(P.5-21\)](#)

マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成

BAT を使用して、Cisco CallManager データベースに、マネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入する場合、新しいアソシエーションを追加することも、既存のアソシエーションを更新することもできます。

マネージャとアシスタントのアソシエーション用に CSV データ ファイルを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。

- **BAT スプレッドシートを使用したマネージャとアシスタントのアソシエーションの追加または更新 (P.5-15)**
- テキスト エディタを使用した CSV 形式のテキスト ファイルの作成。詳細については、**P.A-25** の「**マネージャおよびアシスタントのファイル形式**」を参照してください。

新しいマネージャ用のアソシエーションを作成する場合は、デバイス名を入力する必要があります。既存の IPMA レコードでマネージャを更新する場合、これらのフィールドはオプションです。マネージャとアシスタントの電話機に BAT がどのように回線設定を割り当てるかについては、**P.5-5** の「**マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定**」を参照してください。BAT では、アシスタント用のプロキシ回線にマネージャのインターコム回線を割り当てることができません。

BAT スプレッドシートを使用したマネージャとアシスタントのアソシエーションの追加または更新

BAT スプレッドシートにはマクロを持つデータ ファイル テンプレートがあり、マネージャとアシスタントのアソシエーションを容易に追加、更新、または削除できます。BAT スプレッドシートのインストール方法と使用方法については、**P.1-13** の「**BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法**」を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用して新しい IPMA アソシエーションを追加する手順は、次のとおりです。マネージャとアシスタントの設定には、次の 2 つの方法を使用できます。

- デフォルトの回線設定を使用してマネージャとアシスタントのアソシエーションを作成する方法については、P.5-16 の「デフォルトのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成」を参照してください。

表 5-3 と表 5-4 は、マネージャとアシスタントの電話機のデフォルトの回線設定を示しています。

- デフォルトの回線設定に従わないプロキシ回線を割り当てる場合、カスタムのマネージャとアシスタント用のファイルを作成するための手順は、P.5-19 の「カスタムのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成」を参照してください。

デフォルトのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成

デフォルトの設定を使用して、プロキシ モードと共有モードの両方でマネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入または更新するために CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** **BAT.xlt** ファイルを検索してダブルクリックし、BAT スプレッドシートを開きます。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、**Enable Macros** ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** マネージャとアシスタントのアソシエーションのオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある **Default Managers-Assistants** タブをクリックします。
- ステップ 4** テンプレートを右側にスクロールしてオプション ボタンを表示し、このトランザクションのアソシエーションのタイプを次のうちから選択します。
 - **One manager, multiple assistants**
 - **One assistant, multiple managers**

ステップ 5 すべての必須フィールド、および該当するオプション フィールドに値を入力します。

One manager, multiple assistants オプション ボタンを選択する場合は、各行に次の情報を入力します。

- **Manager ID** : マネージャのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。
- **Assistant ID#** : このマネージャに割り当てるアシスタントのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。
記号は、マネージャに割り当てるアシスタントの数を表します。



(注) 別のアシスタントをさらに追加するには、**Add more Assistants** をクリックします。

One assistant, multiple managers オプション ボタンを選択する場合は、各行に次の情報を入力します。

- **Assistant ID** : アシスタントのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。
- **Manager ID#** : このアシスタントに割り当てるマネージャのユーザ ID を、30 文字以内で入力する。
記号は、アシスタントに割り当てるマネージャの数を表します。



(注) 別のマネージャをさらに追加するには、**Add more Managers** をクリックします。

ステップ 6 次のうちから、実行する操作を選択します。

- **Insert** をクリックして、マネージャとアシスタントのアソシエーションを作成します。
- **Delete** をクリックして、マネージャとアシスタントのアソシエーションから、マネージャまたはアシスタントを削除します。

ステップ 7 Export to BAT Format をクリックして、BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDDataFiles（または、別の既存フォルダを指定）に保存されます。ファイル名は次のとおりです。

<type of operation>ManagerAssistants#timestamp.txt

<type of operation> には、ステップ 6 で選択した操作の種類が入力されます。「timestamp」は、ファイルが作成された正確な日時を表します。

CSV データ ファイルは、Cisco CallManager パブリッシャ データベース サーバにコピーして、BAT からアクセスできるようにする必要があります。フロッピー ディスク、またはマッピングされたネットワーク ドライブを使用して、C:\XLSDDataFiles（またはファイルの格納先として選択したフォルダ）から、パブリッシャ データベース サーバ上の次のフォルダのいずれかに CSV データ ファイルをコピーします。

- 挿入または更新 : C:\BATFiles\ManagersAssistants\Insert
- 削除 : C : \BATFiles\ManagersAssistants\Delete

エクスポートされた CSV ファイルを読み取る方法については、BAT の Insert Managers/Assistants ウィンドウで、**View Sample File** へのリンクをクリックしてください。

関連項目

- [カスタム マネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成 \(P.5-19\)](#)
- [既存の電話機に対する IPMA プロキシ回線の設定 \(P.5-10\)](#)

カスタムのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成

既存の電話機にマネージャとアシスタントのアソシエーションを設定する場合は、BAT スプレッドシートの **Custom Managers-Assistants** タブを使用できます。CSV データ ファイルを作成することによって、アシスタントの電話機のプロキシ回線で、マネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入または更新する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1 **BAT.xlt** ファイルを検索してダブルクリックし、BAT スプレッドシートを開きます。
- ステップ 2 プロンプトが表示されたら、**Enable Macros** ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3 マネージャとアシスタントのアソシエーションのオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある **Custom Managers-Assistants** タブをクリックします。
- ステップ 4 **Number of Proxy Lines** ボックスが表示されるまで、テンプレートを右側にスクロールします。このボックスで、アシスタントに割り当てるプロキシ回線の数を入力します。スプレッドシートは、入力した数値に基づいて、**Proxy Line DN** と **Manager Line DN** の列を追加します。

すべての必須フィールド、および該当するオプション フィールドに値を入力します。

- **Manager ID** : マネージャのユーザ ID を入力する。
- **Device Name** : マネージャの電話機に割り当てられたデバイス名を入力する。
- **Intercom DN** : マネージャのインターコム回線の電話番号を入力する (オプション)。
- **Assistant ID** : このマネージャに割り当てるアシスタントのユーザ ID を入力する。
- **Device Name** : アシスタントの電話機に割り当てられたデバイス名を入力する。

- **Intercom DN** : アシスタントのインターコム回線の電話番号を入力する (オプション)。
- **Proxy Line DN#** : アシスタントのプロキシ回線の電話番号を入力する。
- **Manager Line DN#** : マネージャのプライマリ回線の電話番号を入力する。
記号は、マネージャに関連付けるプロキシ回線の数を表します。

ステップ 5 Export to BAT Format ボタンをクリックして、BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDataFiles (または、別の既存フォルダを指定) に保存されます。ファイル名は次のとおりです。

Custom Managers-Assistants#timestamp.txt

CSV データ ファイルは、Cisco CallManager パブリッシャ データベース サーバにコピーして、BAT からアクセスできるようにする必要があります。フロッピー ディスク、またはマッピングされたネットワーク ドライブを使用して、C:\XLSDataFiles (またはファイルの格納先として選択したフォルダ) から、パブリッシャ データベースを実行しているサーバ上の C:\BATFiles\ManagersAssistants\Insert フォルダに、CSV データ ファイルをコピーします。

エクスポートされた CSV ファイルを読み取る方法については、BAT の Insert Managers/Assistants ウィンドウで、**View Sample File** へのリンクをクリックしてください。

関連項目

- [デフォルトのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成 \(P.5-16\)](#)
- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)
- [Cisco CallManager からのマネージャの削除 \(P.5-26\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.5-30\)](#)

Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入

マネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを挿入したり、既存のアソシエーションを更新したりするには、CSV データ ファイルが必要です。詳細については、P.5-15 の「マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成」を参照してください。

BAT がマネージャとアシスタントのアソシエーションを更新するときは、インターコム電話番号や関連付けられているデバイスについて、既存の Cisco IPMA 回線設定は変更されません。



注意

Cisco IPMA の最小構成をサポートするために必要な数の回線をアシスタントの電話機が持っていない場合、マネージャとアシスタントのアソシエーション作成は失敗します。

Cisco CallManager データベースにマネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを追加または更新する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** **Configure > Managers/Assistants** の順に選択します。Manager/Assistant Options ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** **Insert Managers/Assistants** を選択し、**Next** をクリックします。Insert/Managers/Assistants ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** **File Name** フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 4** マネージャがエクステンション モビリティを使用してログインする場合は、**Configure managers as mobile managers** チェックボックスをオンにします。

Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入

ステップ 5 すべての電話機に共有回線がある場合は、**Uses shared lines** チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 Insert Options で、作成した CSV データ ファイルのタイプを次のうちから選択します。

- **Default** : 標準の CSV データ ファイルを作成した場合は、CSV ファイルのデータに基づいて、このトランザクションのアソシエーションのタイプを選択する。
 - **Associate one or more assistants to a manager**
 - **Associate one or more managers to an assistant**
- **Custom** : プロキシ モードのためのカスタム CSV データ ファイルを作成した場合に選択する。

ステップ 7 **Insert** をクリックします。Cisco CallManager データベースにレコードを挿入するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。システムのパフォーマンスの低下が起りそうな場合は、トランザクションを取り消すことができます。

ステップ 8 マネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入するには、**OK** をクリックします。トランザクションを取り消すには、**Cancel** をクリックします。

OK をクリックした場合、Transaction Status ウィンドウが表示されます。**Show Latest Status** ボタンをクリックすると、トランザクションの進行状況が表示されます。

ステップ 9 トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックすると、追加されたレコード数と問題のあるレコード数を示すログ ファイル（エラー コードを含む）が表示されます。ログ ファイルの詳細については、P.13-2 の「**BAT ログ ファイル**」を参照してください。



(注) アシスタントまたはマネージャの設定の更新を BAT で実行しているとき、利用可能回線数の不足が原因で変更が一部しか完了しなかった場合は、トランザクション レコード全体が失敗します。

ステップ 10 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。
http://<IPMA server IP address>/manager/list にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- [Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入 \(P.5-21\)](#)
- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)
- [Cisco CallManager からのマネージャの削除 \(P.5-26\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.5-30\)](#)

Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除

BAT を使用して、Cisco CallManager データベースにある、マネージャとアシスタントの特定のアソシエーションを削除できます。たとえば、*jmorgan* というユーザ ID のアシスタントが、*rcraig* と *dbaker* というユーザ ID を持つ 2 人のマネージャに割り当てられているとします。このマネージャとアシスタントのアソシエーションを変更する場合、たとえば、アシスタント *jmorgan* を *rcraig* だけに割り当てる場合は、次のようなエントリを持つ CSV データ ファイルを作成して、*jmorgan* と *dbaker* のアソシエーションを削除します。

例

```
jmorgan,dbaker
```

マネージャとアシスタントのすべてのアソシエーションから、マネージャまたはアシスタントを削除する場合は、次の項を参照してください。

- [Cisco CallManager からのマネージャの削除 \(P.5-26\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.5-30\)](#)

Cisco CallManager 内にある特定のマネージャとアシスタントのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

削除する特定のマネージャとアシスタントのアソシエーションのユーザ ID が含まれた CSV データ ファイルが必要です。詳細については、[P.5-15 の「マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成」](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** **Configure > Managers/Assistants** の順に選択します。Manager/Assistant Options ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** **Delete Managers/Assistants** を選択し、**Next** をクリックします。Delete Managers/Assistants ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **File Name** フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した CSV ファイルを選択します。

ステップ 4 削除のタイプとして、次のいずれかを選択します。

- **Delete associated assistants for one manager**
- **Delete associated managers for one assistant**

ステップ 5 **Delete** をクリックします。Cisco CallManager データベースからレコードを削除するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。システムのパフォーマンスの低下が起こりそうな場合は、トランザクションを取り消すことができません。

トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックすると、削除されたレコード数と問題のあるレコード数を示すログ ファイル（エラー コードを含む）が表示されます。ログ ファイルの詳細については、[P.13-2 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

ステップ 6 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。<http://<IPMA server IP address>/manager/list> にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- [Cisco CallManager からのマネージャの削除 \(P.5-26\)](#)
- [Cisco CallManager からのアシスタントの削除 \(P.5-30\)](#)

Cisco CallManager からのマネージャの削除

IPMA マネージャを削除すると、Cisco CallManager は、そのマネージャの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、*rmartinez* というユーザ ID を持つマネージャに 2 人のアシスタントがいて、それぞれ *dbell* と *jkent* というユーザ ID を持つ場合、マネージャとしての *rmartinez* を Cisco CallManager データベースで削除すれば、*rmartinez* と両方のアシスタントとの関連付けを解除できます。削除した後も、ディレクトリには *rmartinez* がユーザとして残ります。

Cisco CallManager データベースと LDAP Directory から、マネージャと、そのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。Delete Managers オプションにアクセスするには、**Configure > Managers/Assistants > Delete Managers** を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.5-26\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.5-28\)](#)

クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除

Cisco CallManager ディレクトリ内で、アシスタントとのアソシエーションからマネージャを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1 Delete Managers ウィンドウで、**Use Query** を選択し、**Next** をクリックします。Delete Managers (Cisco IPMA) ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 削除するマネージャを探すために、フィルタを定義します。



注意

フィルタを定義しないと、すべてのマネージャが削除されます。

- ステップ 3** 最初のドロップダウン リストボックスで、クエリー対象のフィールド（たとえば、User ID、Department、First Name、Last Name）を選択します。
- ステップ 4** 2 番目のドロップダウン リストボックスで、**contains** または **is exactly** を選択します。
- ステップ 5** 3 番目のボックス（検索フィールドまたはリストボックス）で、検索する値（たとえば、特定のマネージャ）を選択するか、入力します。



(注) マネージャを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 24 からマネージャを選択するには、3 番目のボックスに **12, 24** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

- ステップ 6** **Add To Query** ボタンをクリックして、定義したフィルタをクエリーに追加します。

誤りがあった場合は、**Clear Query** ボタンをクリックして、そのクエリーを削除します。その後、[ステップ 3](#) からやり直します。

- ステップ 7** **View Query Result** をクリックして、検索対象のレコードを表示します。

- ステップ 8** **Delete** をクリックすると、選択したマネージャが削除されます。

Cisco CallManager ディレクトリでレコードを削除するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。トランザクションを取り消すか、または **OK** をクリックして処理を続行することができます。

- ステップ 9** トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックすると、削除されたレコード数と問題のあるレコード数を示すログ ファイル（エラー コードを含む）が表示されます。ログ ファイルの詳細については、[P.13-2](#) の「**BAT ログ ファイル**」を参照してください。

■ Cisco CallManager からのマネージャの削除

ステップ 10 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。
http://<IPMA server IP address>/manager/list にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- [カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除 \(P.5-28\)](#)
- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)

カスタム ファイルを使用したマネージャのアソシエーションの削除

テキスト エディタを使用してカスタム ファイルを作成し、削除対象のマネージャのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. 削除するマネージャのユーザ ID を指定したテキスト ファイルを作成します。
2. ユーザ ID は、1 行に 1 つずつ指定します。
3. カスタム ファイルを <filename.txt> という名前で、フォルダ C:\BATfiles\ManagersAssistants\Query\Delete に保存します。

カスタム ファイルを使用してマネージャのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Delete Managers ウィンドウで、**Use Custom File** を選択し、**Next** をクリックします。Delete Managers (Cisco IPMA) ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** Select managers where フィールドで、識別子 **User ID** を選択します。
- ステップ 3** 2 番目のフィールドである Custom File ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタム ファイルの名前を選択します。

ステップ 4 **Add To Query** をクリックして、定義したフィルタをクエリーに追加します。

誤りがあった場合は、**Clear Query** をクリックして、そのクエリーを削除します。その後、[ステップ 3](#) からやり直します。

**注意**

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべてのアシスタントレコードが削除されます。

ステップ 5 **View Query Result** をクリックして、検索対象のレコードを表示します。

ステップ 6 **Delete** をクリックして、レコードを削除します。

Cisco CallManager データベースでレコードを削除するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。システムのパフォーマンスの低下が起これるような場合は、トランザクションを取り消すことができます。

ステップ 7 マネージャとアシスタントのアソシエーションを削除するには、**OK** をクリックします。トランザクションを取り消すには、**Cancel** をクリックします。

OK をクリックした場合、**Transaction Status** ウィンドウが表示されます。**Show Latest Status** をクリックすると、トランザクションの進行状況が表示されます。

ステップ 8 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。<http://<IPMA server IP address>/manager/list> にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- クエリーを使用したマネージャのアソシエーションの削除 (P.5-26)
- Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 (P.5-24)

Cisco CallManager からのアシスタントの削除

IPMA アシスタントを削除すると、Cisco CallManager は、そのアシスタントの情報をディレクトリにユーザとして保持します。たとえば、アシスタント *thudson* が、*hart* と *dstewart* という 2 人のマネージャに割り当てられているとします。*thudson* と 2 人のマネージャとのアソシエーションを削除するには、アシスタントとしての *thudson* を Cisco CallManager データベースから削除します。削除した後も、ディレクトリには *thudson* がユーザとして残ります。

Cisco CallManager データベースと LDAP Directory から、アシスタントとそのマネージャとアシスタントのアソシエーションをすべて削除できます。Delete Assistants オプションにアクセスするには、**Configure > Managers/Assistants > Delete Assistants** を選択します。

削除する既存のレコードを検索する方法には、次の 2 つがあります。

- [クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-30\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-32\)](#)

クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

マネージャとのアソシエーションからアシスタントを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1 Delete Assistants ウィンドウで、**Use Query** を選択し、**Next** をクリックします。Delete Assistants (Cisco IPMA) ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 削除するアシスタントを探すために、フィルタを定義します。



注意

フィルタを定義しないと、すべてのアシスタントが削除されます。

- ステップ 3** 最初のドロップダウン リストボックスで、クエリー対象のフィールド（たとえば、User ID、Department、First Name、Last Name）を選択します。
- ステップ 4** 2 番目のドロップダウン リストボックスで、**contains** または **is exactly** を選択します。
- ステップ 5** 3 番目のボックス（検索フィールドまたはリストボックス）で、検索する値（たとえば、特定のアシスタント）を選択するか、入力します。



(注) アシスタントを複数の部署から選択するには、このフィールドに複数の部署を入力します。たとえば、部署 12 と部署 34 からアシスタントを選択するには、3 番目のボックスに **12, 34** と入力します。削除操作を 2 回繰り返す必要はありません。

- ステップ 6** **Add To Query** をクリックして、定義したフィルタをクエリーに追加します。

誤りがあった場合は、**Clear Query** をクリックして、そのクエリーを削除します。その後、[ステップ 3](#) からやり直します。

- ステップ 7** **View Query Result** をクリックして、検索対象のレコードを表示します。

クエリーで定義したすべてのレコードに対して、更新する設定値を指定します。

- ステップ 8** **Delete** をクリックすると、選択したアシスタントが削除されます。

Cisco CallManager データベースでレコードを削除するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。トランザクションを取り消すか、または **OK** をクリックして処理を続行することができます。

- ステップ 9** トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックすると、追加されたレコード数と問題のあるレコード数を示すログ ファイル（エラー コードを含む）が表示されます。ログ ファイルの詳細については、[P.13-2](#) の「**BAT ログ ファイル**」を参照してください。

■ Cisco CallManager からのアシスタントの削除

ステップ 10 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。
http://<IPMA server IP address>/manager/list にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- [カスタムファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-32\)](#)
- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)

カスタムファイルを使用したアシスタントのアソシエーションの削除

テキストエディタを使用してカスタムファイルを作成し、削除対象のアシスタントのアソシエーションを検索できます。

始める前に

1. テキストファイルを作成し、削除するアシスタントのユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタムファイルを <filename.txt> という名前で、フォルダ C:\BATfiles\ManagersAssistants\Query\Delete に保存します。

カスタムファイルを使用してアシスタントのアソシエーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Delete Assistants ウィンドウで、**Use Custom File** を選択し、**Next** をクリックします。Delete Assistants (Cisco IPMA) ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** Select Assistants where ドロップダウン リストボックスで、カスタムファイルで使用するフィールド、User ID を選択します。
 - ステップ 3** Custom File ドロップダウン リストボックスで、このトランザクション用に作成したカスタムファイルの名前を選択します。

ステップ 4 **Add To Query** をクリックして、定義したフィルタをクエリーに追加します。

誤りがあった場合は、**Clear Query** をクリックして、そのクエリーを削除します。その後、**ステップ 3** からやり直します。

**注意**

クエリー テキストボックスに情報を何も入力しないと、すべてのアシスタントレコードが削除されます。

ステップ 5 **View Query Result** をクリックして、検索対象のレコードを表示します。

ステップ 6 **Delete** をクリックすると、レコードが削除されます。

Cisco CallManager ディレクトリからレコードを削除するために必要な時間を通知するメッセージが表示されます。トランザクションを取り消すか、または **OK** をクリックして処理を続行することができます。

ステップ 7 BAT が生成したログ ファイルを表示するには、**View Latest Log File** リンクをクリックします。ログ ファイルには、削除したレコード数と失敗したレコード数 (エラー コードを含む) が示されます。ログ ファイルの詳細については、**P.13-2** の「**BAT ログ ファイル**」を参照してください。

ステップ 8 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。http://<IPMA server IP address>/manager/list にアクセスし、管理者特権を使って Tomcat Manager Web ページにログインします。

関連項目

- [Cisco CallManager 内のマネージャとアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-24\)](#)
- [クエリーを使用したアシスタントのアソシエーションの削除 \(P.5-30\)](#)

■ Cisco CallManager からのアシスタントの削除